

新島襄とは何者か

— その人生と精神を読み解く —

本シンポジウムでは、新島襄が残した精神を歴史的に検証すると同時に、それを現代に生かすための方法を模索します。それは同志社の特殊性（ユニークさ）を、同志社コミュニティを超えた普遍性へと接続する試みでもあります。講演の後、良心学研究センターによる近刊『新島襄 365』の執筆者全員がコメンテーターとして登壇し、多様な角度から「新島襄とは何者か」に迫っていきます。なお、来場者には『新島襄 365』を無償配布いたします。

入場無料・事前申込不要

● 日時：2019年 **10月29日**（火）16:40 — 19:00

● 場所：同志社大学 今出川キャンパス 同志社礼拝堂

● 講演：沖田行司

（同志社大学 名誉教授）

小原克博

（神学部 教授、良心学研究センター長）



コメンテーター（『新島襄 365』執筆者）：木原活信（社会学部 教授）、神田朋美（神学研究科後期課程学生）、中村信博（同志社女子大学 学芸学部 教授）、貫名信行（脳科学研究科 教授）、林田明（理工学部 教授）、深谷格（司法研究科 教授）、和田喜彦（経済学部 教授）

■ 問い合わせ 同志社大学 良心学研究センター

CONSCIENCE

E-mail: rc-csc@mail.doshisha.ac.jp <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>

良心を世界に—良心を覚醒させる知の連携と知の実践 良心学研究センターは、現代世界における「良心」を考察し、その応用可能性・実践可能性を探求することを通じて、学際的な研究領域として「良心学」を構築し、さらにその成果を国内外に発信し、新たな学術コミュニティを形成することを目的としています。